

# 2025 FISU World University Games

## Report 1 (7/18,19)

7月18日(金)

7月福井合宿で共に合宿を行ったU23世界選手権代表チームに続き、2025年World University Games(以下WUG)日本代表チームが、大会が行われるデュイスブルグ(ドイツ)に向け成田空港から出発しました。

一行は、JL407便にてフランクフルト空港までのフライト後、陸路でデュイスブルグに向います。

ご声援よろしくお願い致します！！



後列左から、M2x・Mix4x中島広大選手(日本大学)、M2x・Mix4x宮口大誠選手(NTT東日本)、M1x菅原陸翔選手(関西電力)、M2-青木洋樹選手(明治安田)、M2-上戸慧太選手(明治安田)  
前列左からW2x・Mix4x岸本唯佳選手(NTT東日本)、W2x猪野日向子選手(明治安田)、W1x・Mix4x井上幸乃選手(立教大学)



成田空港まで、シニアの大戸コーチ(写真右)が大会で使用するオールを運んできてくださいました。



チーム荷物やオールなどに大会ステッカーを貼りつけます。



一同JL407便にてフランクフルト空港に向けて飛び立ちました。



フランクフルト空港にて。チームの荷物をピックアップし手分けして運びます。

WUG日本代表選手団は、現地時間の18:00にフランクフルト空港に到着し入国とチームの荷物のピックアップを行い、19:00にフランクフルト空港から陸路でデュイスブルグに向かいました。

デュイスブルグでの最初の宿泊地であるMercure Hotel Duisburg Cityには22:00頃に到着し、約19時間にわたる移動が完了しました。

7月19日(土)

前日の長時間にわたる移動を行ったWUG日本代表選手団は、朝食を各自でとった後、10:00～時差調整の軽い運動として、ポートコースまでの片道3kmの道のりでウォーキングを行いました。

また、7月22日(火)まではシャトルバスも動かないため、ホテルから会場となるポートコースまでのオールの運搬などは、自分たちで行うため、別動隊がその準備に奔走しております。



朝のウォーキング出発前のミーティングの様子。



会場はまだコースオープン前だったので、現地の担当者の方々とボランティアの方々が、明日のプレオープンに向けて懸命に作業しておりました。

WUG日本代表チームの艇は、リガータイプも含めて確認することはできましたが、触れることはできませんでした。

明日7月20日(日)が会場のプレオープンとなり、9:00から会場に入ることができ、10:30~18:00の間でトレーニングが可能となります。

#### 【FISU World University Gamesとは】

1923年フランスで初めて開催され、一時中断した年代や『ユニバーシアード』として開催された時期もありましたが、現在は2年に一度 夏・冬競技で『World University Games』として開催され、国際的な大学スポーツの総合競技大会として位置づいています。

今年の夏季大会にあたる本大会は、7月16日(水)に開会式が行われ、7月27日(日)までの12日間で、18競技が6つの都市で開催され、熱戦が繰り広げられます。

大会は、約12000人のボランティアが、約150カ国から集まる、およそ8500人の選手団を支援します。  
TEAM JAPANは選手252名、スタッフ142名 計394名で構成されており、ローイング競技は選手8名、スタッフ4名となっております。現地では7月19日(土)より調整を始め、7月25日(金)~27日(日)のレースに挑みます。